



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月11日

上場会社名 株式会社Photosynth 上場取引所 東
コード番号 4379 URL <https://photosynth.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 航大
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 村上 航一 TEL 03-6630-4585
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 2,189 | 22.0 | 109 | — | 114 | — | 165 | — |
| 2023年12月期第3四半期 | 1,794 | 24.1 | △136 | — | △134 | — | △102 | — |

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 108百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △148百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期第3四半期 | 10.66 | 10.60 |
| 2023年12月期第3四半期 | △6.62 | — |

(注) 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 3,543 | 2,253 | 60.2 |
| 2023年12月期 | 3,596 | 2,129 | 54.2 |

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,134百万円 2023年12月期 1,948百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 2,950 | 18.3 | 60 | — | 70 | — | 110 | 7.08 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社Migakun 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2024年12月期3Q | 15,597,600株 | 2023年12月期 | 15,551,500株 |
| 2024年12月期3Q | 25,400株 | 2023年12月期 | 17,100株 |
| 2024年12月期3Q | 15,545,867株 | 2023年12月期3Q | 15,486,993株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年11月11日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用します決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における市場環境は、8月初旬に記録的な株価下落があったものの、その後は株式市場全体に復調が見られるなど日本企業のレジリエンシーが発揮された一方で、民間の調査等では建設業や物流業等を中心に人手不足を理由とした企業倒産が増加するなど、特にサービス業など労働集約的な業種・業態での人材不足が鮮明になった四半期となりました。また、9月からの関東地方を中心とした広域強盗事件の頻発等により、改めて安心・安全な社会の実現に向けた防犯対策等のセキュリティ向上のための取り組みが一層促進されております。

このような市場環境を受け、当第3四半期連結会計期間における当社グループの事業活動全体では、主力サービスである「Akerun入退室管理システム」の導入が促進され、特に新規顧客及び既存顧客における導入が堅調に推移しております。これは、Akerunによるセキュリティの強化、鍵管理と入退室管理のデジタル化による利便性や管理性の向上、そして勤怠管理や会員管理等の外部サービス連携を含む空間や業務の無人化・省人化を通じた業務効率化やコスト削減等のメリットが引き続き評価されているものと当社では考えております。特に従来のオフィス利用に限らず、フィットネスジムやフレキシブルオフィス等の商用利用での導入が大きく加速していることに加え、医療機関や教育機関などの規模を問わない様々な施設や用途での採用も促進されております。

また、7月から本格展開しているギグワーカープラットフォームを活用した施設運営BPaaS事業「Migakun（ミガクン）」も堅調に事業を拡大しており、業種・業態を問わず人手不足対策や施設運営効率の向上を目的に普及する無人化・省人化へのニーズに対して、総務業務や施設の清掃・管理、コミュニティスペースの運営などのサービスを提供しております。

当社グループにおける具体的な取り組みとしては、主力サービスである「Akerun入退室管理システム」のオフィス利用や商用利用における堅調な需要に加え、特に新規顧客・既存顧客、また規模や業種・業態を問わない導入が大きく促進されたことを受けて、営業人員の増加による営業力の強化、組織全体の生産性と業務効率性の強化、地方拠点の活用、そしてサービスや製品の品質の向上や機能拡充等、組織体制の強化やサービス価値の向上に継続的に取り組んでおります。

7月には新たに「Akerun入退室管理システム」の「電池残量低下 検知機能」の提供を開始し、オフィスだけでなく、特に商用利用におけるAkerunを安定的な活用、利用者の利用満足度の向上、そして施設管理者の管理負荷の軽減を支援することで、さらなる新規・追加による導入の加速と利用者の満足度の向上とそれに伴う解約率の低減を図っております。

そして、新事業の「Migakun」では、9月に設立したフォトシンスの完全子会社となる株式会社Migakunを通じて事業の本格展開を開始し、すでに一定規模の事業基盤を確立しております。この「Migakun」では、人手不足対策や施設運営効率の向上を目的に普及する無人化・省人化などへの高まるニーズに対して、すでに相当規模を有するギグワーカープラットフォームを通じた総務業務や施設の清掃・管理、コミュニティスペースの運営などのサービスを新規顧客・既存顧客に提供しており、引き続き人員の増加や組織体制の強化等を通じた事業成長を加速します。

さらに、9月下旬には新たなプロダクトとなる「Akerunデジタル身分証」を発表し、Apple社のモバイル端末やアプリへの対応をはじめとした取り組みを加速しております。今後も、社員証や学生証、会員証などの身分証を「Akerunデジタル身分証」によりデジタル化することで、利用者の利便性の向上と管理者の管理性の向上を実現するとともに、Akerun経済圏のさらなる拡大とそれに伴う事業成長を目指します。

当社グループでは、業界をリードする「Akerun入退室管理システム」をはじめとしたAkerunブランドのクラウド型IoTサービスの提供に加え、新事業となる「Migakun」の売上拡大、そして将来的な「Akerunデジタル身分証」の開発の加速や提供拡大を通じて、オフィスや商業施設、医療機関、教育機関などあらゆる空間における、少子高齢化に伴う人手不足対策や生産性の向上、無人化・省人化を通じた労働力問題の解決や、デジタル化による様々な業務の効率化を支援することで、さらなる事業成長に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間は、Akerun事業における、売上のさらなる拡大、組織体制や収益性の強化、サービス品質の向上や機能強化、そして地方拠点の活用による全国規模での販売網／サポート網の強化等に加え、「Migakun」等の新規事業の本格展開と売上成長を通じて、売上、契約社数、ARPUの拡大と新規顧客の獲得を実現しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,189,968千円(前年同期比22.0%増)、営業利益は109,027千円(前年同四半期は営業損失136,694千円)、経常利益は114,145千円(前年同四半期は経常損失134,042千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は165,734千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失102,477千円)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間より「Akerun事業」について、当社グループの事業内容をより適切に表現すべく、報告セグメントの名称を「空間DX事業」に変更いたしました。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。当社グループは、空間DX事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,543,791千円となり、前連結会計年度末に比べ52,730千円減少しました。これは主に、ソフトウェアが43,800千円、現金及び預金が27,560千円、それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,289,985千円となり、前連結会計年度末に比べ177,398千円減少しました。これは主に、契約負債が125,836千円、流動負債のその他に含まれる未払金が41,267千円、それぞれ増加した一方で、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)が179,930千円、流動負債のその他に含まれる未払費用が90,594千円、未払消費税等が61,338千円、それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,253,805千円となり、前連結会計年度末に比べ124,667千円増加しました。これは主に、非支配株主持分が61,169千円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益165,734千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,574,922 | 1,547,362 |
| 売掛金 | 179,698 | 160,681 |
| 仕掛品 | - | 275 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,663 | 14,618 |
| 商品及び製品 | 5,257 | 5,706 |
| その他 | 106,208 | 133,735 |
| 貸倒引当金 | △3,948 | △111 |
| 流動資産合計 | 1,875,801 | 1,862,269 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸貸用資産 | 834,332 | 988,932 |
| 貸貸用資産仮勘定 | 633,171 | 568,391 |
| その他 | 105,247 | 113,679 |
| 減価償却累計額 | △388,350 | △496,052 |
| 有形固定資産合計 | 1,184,401 | 1,174,952 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 398,382 | 354,581 |
| ソフトウェア仮勘定 | 5,402 | 6,304 |
| 無形固定資産合計 | 403,784 | 360,886 |
| 投資その他の資産 | 132,535 | 145,683 |
| 固定資産合計 | 1,720,721 | 1,681,522 |
| 資産合計 | 3,596,522 | 3,543,791 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 42,738 | 36,336 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 209,240 | 57,240 |
| 未払法人税等 | 5,870 | 4,572 |
| 契約負債 | 691,258 | 817,094 |
| その他 | 403,397 | 286,812 |
| 流動負債合計 | 1,352,504 | 1,202,056 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 88,350 | 60,420 |
| 資産除去債務 | 22,269 | 22,368 |
| その他 | 4,260 | 5,140 |
| 固定負債合計 | 114,880 | 87,929 |
| 負債合計 | 1,467,384 | 1,289,985 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 57,387 | 65,542 |
| 資本剰余金 | 2,650,953 | 2,659,108 |
| 利益剰余金 | △762,857 | △597,122 |
| 株主資本合計 | 1,945,484 | 2,127,529 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,126 | 7,009 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,126 | 7,009 |
| 新株予約権 | 95 | 5 |
| 非支配株主持分 | 180,430 | 119,261 |
| 純資産合計 | 2,129,137 | 2,253,805 |
| 負債純資産合計 | 3,596,522 | 3,543,791 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,794,736 | 2,189,968 |
| 売上原価 | 310,728 | 511,465 |
| 売上総利益 | 1,484,008 | 1,678,503 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,620,702 | 1,569,475 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △136,694 | 109,027 |
| 営業外収益 | | |
| 助成金収入 | 1,453 | 1,931 |
| 違約金収入 | 6,265 | 4,990 |
| その他 | 2,686 | 1,818 |
| 営業外収益合計 | 10,405 | 8,739 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,604 | 1,664 |
| 譲渡制限付株式報酬償却損 | 2,834 | 1,885 |
| 消費税等差額 | 523 | 0 |
| その他 | 790 | 73 |
| 営業外費用合計 | 7,752 | 3,622 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △134,042 | 114,145 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 10,058 | 4,670 |
| 特別損失合計 | 10,058 | 4,670 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △144,100 | 109,474 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,423 | 4,908 |
| 法人税等合計 | 4,423 | 4,908 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △148,523 | 104,565 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △46,046 | △61,169 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △102,477 | 165,734 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △148,523 | 104,565 |
| その他の包括利益 | | |
| その他の包括利益合計 | — | 3,882 |
| 四半期包括利益 | △148,523 | 108,448 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △102,477 | 169,617 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △46,046 | △61,169 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、空間DX事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、当第3四半期連結会計期間より「Akerun事業」について、当社グループの事業内容をより適切に表現すべく、報告セグメントの名称を「空間DX事業」に変更いたしました。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 126,072千円 | 197,823千円 |